

谷中七福神

福祿寿 東覚寺(とうかくじ)



🏠 北区田端 2-7-3

東覚寺の創建は室町時代中期(1491)で、門前にある赤紙仁王(あかがみにおう)(石造金剛力士立像)は江戸中に流行していた疫病を鎮めるために宗海(しゅうかい)という僧侶が願主となって寛永18年(1641)に造立されたと伝えられています。この赤紙仁王は、自分の身体に悪いところがあれば、仁王像の同じところに赤紙を貼ると病気が治ると信仰されています。

恵比寿 青雲寺(せいうんじ)

🏠 荒川区西日暮里 3-6-4

日暮里の地は、江戸時代中頃より「日ぐらしの里」と呼ばれて、四季折々の花樹を楽しむ江戸の人々の行楽地として賑わいました。青雲寺は修性院と共に「花見寺」と呼ばれ、豊かな自然に囲まれて草花を数多く植えた美しい庭園があったといわれています。また、滝沢馬琴(たきざわばきん)筆塚の碑があります。



布袋尊 修性院(しゅしょういん)



🏠 荒川区西日暮里 3-7-12

修性院は、江戸時代には境内に数多くの草木を植えて「花見寺」の名にふさわしい庭園をつくり、四季の自然を楽しむことができたといわれています。現在の修性院は、本堂に祀られている大きな布袋尊の徳のある姿が有名で、「日ぐらしの布袋」とも呼ばれています。見とれているうちに日が暮れてしまった、という言い伝えです。

長沙門天 天王寺(てんのうじ)

🏠 台東区谷中 7-14-8

天王寺は鎌倉時代の創建と言われ、都内有数の古寺です。また、江戸時代には「富くじ」(現在の宝くじ)が興行され、目黒の龍泉寺(りゅうせんじ)、湯島天神とともに江戸三富(さんとも)と呼ばれて賑わいました。また、幸田露伴の「五重塔」のモデルとなった天王寺五重塔は昭和32年(1957)7月に焼失してしまいましたが、その跡地は今も谷中霊園の中に残っています。



寿老人 長安寺(ちやうあんじ)



🏠 台東区谷中 5-2-22

長安寺の歴史は古く、創建は寛文9年(1669)とされていますが、これよりさらに400年も前にさかのぼった板碑(いたび)(塔婆の一種)が残されています。また、長安寺には明治初期の日本画家 狩野芳崖(かのうほうがい)(1828-1888)の墓所があります。



大黒天 護国院(ごこくいん)

🏠 台東区上野公園 10-18

護国院は、天海僧正の弟子 生順が東叡山釈迦堂の別当寺として寛永2年(1625)に現在の東京国立博物館右手裏に開創した寺です。こちらの大黒天画像は徳川三代将軍家光公が贈ったものと伝えられています。御前立の大黒天木像は台東区の文化財に指定されています。



不忍池辯天堂(しのはずのいけ)



弁才天

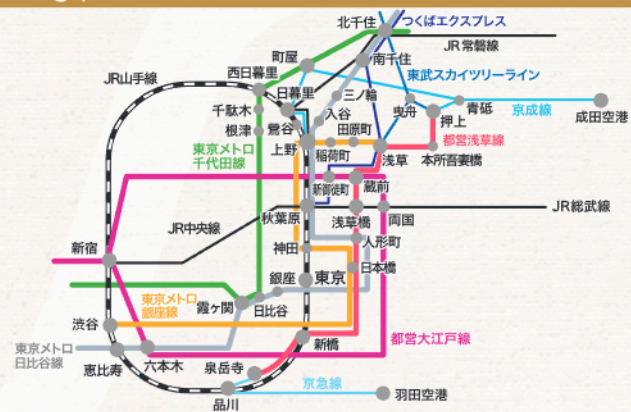
🏠 台東区上野公園 2-1

天海僧正は、比叡山延暦寺に上野の山に寛永寺を創建しました。不忍池は、琵琶湖に見立てられ、竹生島(ちくぶじま)に上野、水谷(みずのや)伊勢守勝隆が池に中ノ島(弁天島)を築き、さらに竹生島の宝蔵寺の大弁才天を勧請し、寛永中期(1630年代)に弁天堂を建立しました。当初、小船を渡して参拝していましたが、後に橋が架けられました。

七福神揃って御朱印をもらえるのは、1月1日～1月10日の期間中のみです。期間外は参拝はできても、七福神が御開帳されているお寺もあります。



◆ 電車でのアクセス



発行 台東区観光課 〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6
TEL.03-5246-1111 (代表)
<https://t-navi.city.taito.lg.jp>

協力: 台東区観光ボランティアの会
台東区ボランティアガイドが無料で案内いたします。(要予約)
■問い合わせ先 TEL:03-3842-5599 (平日10～16時) VEGETABLE MILK 2023.1-8.000

谷中七福神



東京下町さんぽ

お江戸で歴史ある七福神をゆったり散歩



台東区